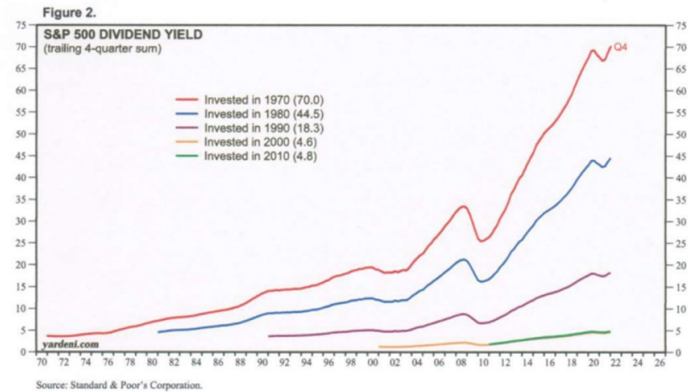
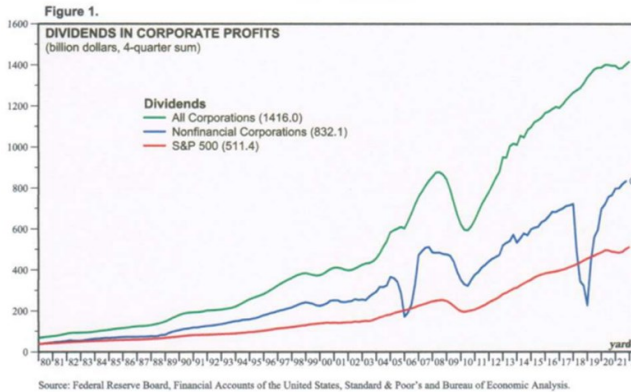


## ATTENTION

### ロシアがウクライナ侵攻-こういう時期の資産運用のながめ方

#### Dividends



いまのように相場が激しく荒れているときに、どこを見ていたらいいか。日々の日経平均やニューヨークダウが上がった、下がったと一喜一憂しても、何の意味もありません。ただ疲れるだけで日常生活が終わってしまいます。そもそも皆さんの資産運用は、人生の時間軸で臨み、老後の生活にゆとりをもって生活できるようにすることが目的です。そうすると、時間軸は10年、20年、30年、40年、50年、60年(今幼児の子供あたり)と、非常に長くなります。ということは、いま日経平均が800円下がった、ニューヨークダウが1000ドル下がったと心配していても、何の意味もないのです。要は、この人生の時間軸の先に、資産がいくらになっているかを気にしていればいいということになります。5%で運用すると、元本は10年で+60%、20年で+265%、30年で+430%、40年で+700%、50年で1,140%、60年で1,860%、そしてここから大事なことをお伝えします。今見ているべきものは、配当金。ここにあげた表は、左表の赤線が1980年からの米国S&P500構成銘柄、緑の線は米国全企業が払った配当金額の推移です。現在では、S&P企業の1年の配当金は5000億ドル、全企業では1兆4,000億ドル。そして右表が1970年からのS&P500全構成銘柄やその上場投資信託を持っていた場合の保有開始期別の現在の配当利回りです。50年前にS&P500の全銘柄を買って今も持っていれば、配当利回りは70%。40年前から持っていれば44.5%。ウクライナ戦争が起ころうと何が起ころうと、配当金は着々と増え続け、長く持てば持つほど配当利回りは上がっていきます。今のような時期は、このように配当金をながめているのが最もよい過ごし方です。

## COLUMN

### 感謝することは何だろうと書き留める！

幸せになるために、これはいいぞ！と思った方法を紹介しましょう。

朝起きたら感謝していることを思い返す、毎週日曜日に感謝することを15ほど書き上げる、感謝することを5分で書き留めてみる。今日あった感謝することを3つ書き留める。瞑想するときに自分の人生で感謝することは何か、昨日感謝すべきことは何だったかと思い返す。感謝することに、時間はかかりません。

なにより「感謝すること」に目を向けると、危機や困難に対して前向きな気持ちを持てるようになり、後ろ向きの感情を乗り越えるようにもなります。小さな喜びに感謝してみると、よい感情が湧いてきます。人間の感情は、悪いこと、悲観的なことに向きがちなのです。日常を見ればコロナ感染、外ではウクライナ侵攻と不安の種は尽きません。しかし感謝することもたくさんあります。

米国の心理学者によれば、感謝する訓練をすると、よく眠れるようになるそうです。そして感謝を書き留める人は、そうしない人に比べ平均して幸せでいられ、何が幸せにするかがわかるといいます。

感謝するという気持ちは、非常に深い感情のように感じます。どんな形であれ「感謝する」ということは人間の心身を健全なものにして、幸せに導くようになります。いまいる環境に感謝する、自分の健康に感謝する、お客様に感謝する、生かされていることに感謝する。感謝する気持ちが湧き出てくるようになれば、心配は払いのけられ、寄り付かなくなるのでしょう。(情報ソース:米WSJ)

## MARKET

	(2月末)	(1月末比)
日経平均	26,526.82円	-475.16円 (-1.76%)
NYダウ	33,892.60ドル	-1,239.26ドル (-3.53%)
米ドル	115.00円	-0.20円 (-0.17%)

## 私の書棚より

私が知遇を得た偉大な指導者にほぼ共通している事実は、彼らが偉大な読書家だったことである。読書は精神を広く鍛えるだけでなく、頭を鍛えその働きを促す。テレビを見るのは受け身だが、読書は能動的な行為である。

-「指導者とは」リチャード・ニクソン著

## 今年も出ました！バフェットの株主への手紙

今年57回目となる、バフェットの株主への手紙。世界中の投資家が待ち望んでいる、バフェットからのメッセージです。バフェット92歳、60年以上のパートナー、98歳のチャーリー・マンガー、二人の存在感はますます大きくなるばかりです。

これまで長くバフェットとマンガーを見ている私にとって、その存在は、今となっては仰ぎ見るヒーローというところですが、決してそうは見えず、株価320ドルの1株をもつ株主もたくさんの株を持つ株主も、同じように、本当に大事なパートナーと見ているのには、頭が下がります。バフェットは、この手紙の中で、こうっています。

「強調したいことは、我々の仕事が楽しく、満足できるものになっていることだ。仕事は、あなた方のために働くこと。チャーリーと私にとって、何十年にもわたり、我々が信頼できる信託者と期待して資産を託してくれる、個人の長期投資家の信頼を享受することほど、ありがたいことはない。・・・本当に異常なくらい“死ぬまで離さないで”持つという人や家族が多いのだ。・・・バークシャーが、これらの株主にとって時には、選べた銘柄の中で最良の選択とは程遠いと感じることもあろう。しかし持っていて居心地がよいと感じる銘柄の中では、上位のランクに入るだろう。そして持っていて居心地がよいと感じる銘柄を持っていれば、平均して、目先の見出しやつぶやきで動く人たちより、よい結果になるだろう。・・・長期の個人株主が、チャーリーと私がいつも求める“パートナー”

であり、我々がバークシャーで経営判断をする際、絶えず意識の中にある存在だ。その人たちに、我々は言う。“あなた方のために“働く”ことは心地よい。そしてあなた方の信頼に対して感謝する。」

いかがですか。株主でなくとも、この言葉は心に響くものではないでしょうか。私も、バフェット、マンガーに心からありがとうございますと言います。バフェットは株主を誰よりも、ある意味では、家族より大切にします。このような姿勢で57年バークシャーを率いているから、S&P500を2倍近く上回る、20%超えの驚異的な年率利回りで、パフォーマンスを上げてきたのです。その株主への姿勢は、企業はどこを見て仕事をするべきまという意味で、大変重要な方向性を示しています。株式投資というと、金持ちが稼ぐ場、あるいは他の利害関係者を押しつけて株主が優先するというような、狭い見方が横行しますが、バフェットの姿勢からは程遠いものです。決してそういうことはありません。バフェットが真の株主資本主義を体現しているのを見るのが賢明なのです。

今年は、3年ぶり(2019年、2020年はオンライン総会)に、地元オマハで、チャーリー・マンガー、後継指名されているグレッグ・アベルとともに、4月30日、実地での株主総会を開催することが決定しています。株主にとって、待ちに待ったイベントといえるでしょう。そしてそれは、バフェットやマンガーにとっても全く同じことなのです。

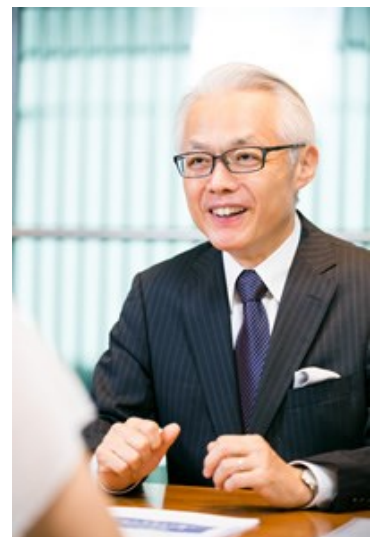
## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp